

発表事項 1

道の駅フェニックス再整備に向けた 第2回サウンディング調査





目的

道の駅フェニックス再整備に関する**実施方針（案）**について、民間事業者の提案・意見を募集します

実施方針（案）の概要

事業方式：**事業用定期借地方式**

必須要件：観光施設としての機能維持
高付加価値な物販・飲食・宿泊機能
地域経済活性化への寄与等

対話期間

令和8年3月30日～令和8年5月8日

※お申し込みは「みやPORT」から



今後のスケジュール（案）

- | | |
|-------|-------------------------|
| 7月上旬 | 募集要項の公表 |
| 9月下旬 | 優先交渉権者の決定 |
| 10月以降 | 基本協定の締結
(事業パートナーの決定) |

発表事項 2

宮崎市スポーツ施設
ネーミングライツスポンサーが決定！





生目の杜運動公園

アイ・ホーム Vitality Field 生目の杜

愛称



 スポンサー アイ・ホーム株式会社

 契約期間 5年間

 契約額 1,000万円/年（税抜き）

宮崎市総合体育館

KING SportsPark

愛称



 スポンサー 株式会社キング

 契約期間 5年間

 契約額 150万円/年（税抜き）

発表事項 3

「未来の学校」の実現に向けた 教育環境整備に関する基本方針





本市が目指す「未来の学校」

安全・安心な教育環境が保障

された中で

一人一人の可能性を最大限に伸ばす

実現に向けて…

教育活動や組織体制の充実だけでなく、それを支える環境整備が必要



「未来の学校」の実現に向けた教育環境整備に関する基本方針

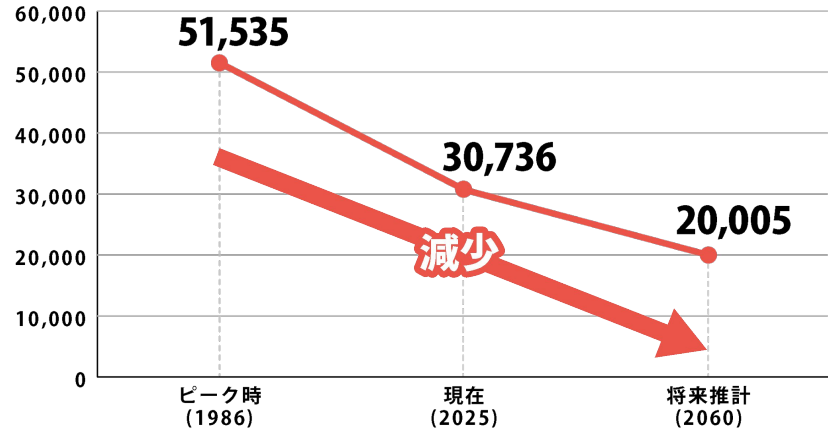
を策定



現状

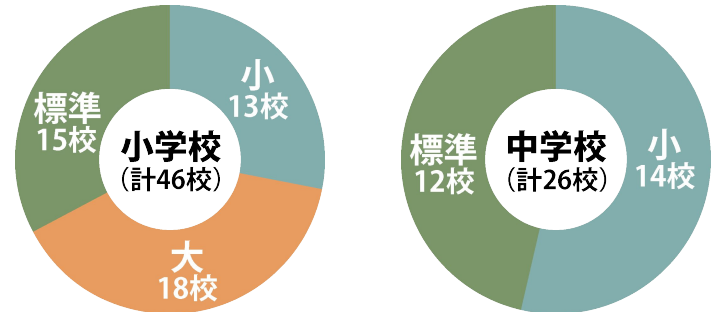
児童生徒数の推移

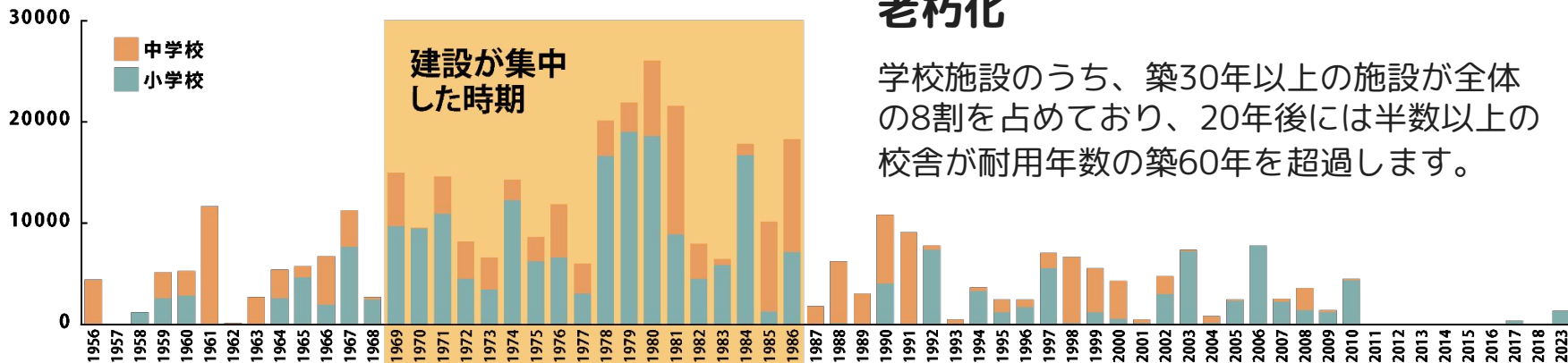
ピーク時点（1986年）の約5.1万人から、2060年には約2万人まで減少する見込です。



学校規模

現在、小学校13校、中学校14校が小規模校です。今後、児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化はさらに進んでいく見込です。



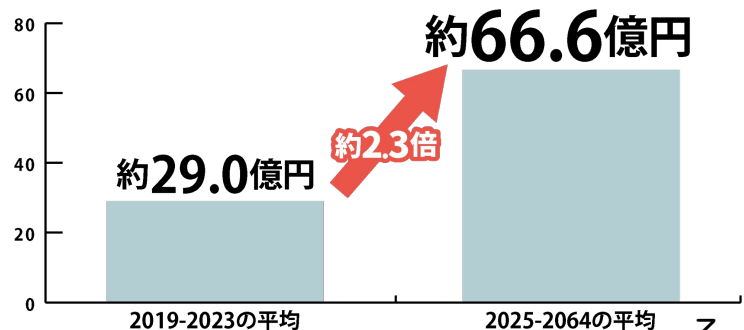


老朽化

学校施設のうち、築30年以上の施設が全体の8割を占めており、20年後には半数以上の校舎が耐用年数の築60年を超過します。

コスト

今後、年平均の施設関連経費が約2.3倍に増加し、財政負担が大きくなることを見込まれます。





整備の基本的な考え方

- ① 学校規模の大小によらず、**市全体**で検討します。
- ② 地域・関係者との意見交換を重ねていきます。
- ③ 「学校の統合」を含め、今後の環境整備について行政から提案を行い、皆さんと一緒に考えます。

学校施設のコンセプト



多様な学びへの
対応



居心地のよさ



地域とのつながり

整備の手法 ※併せて、公共施設との複合化や校区の見直しも考慮します。



建て替え・改修



学校統合



小中一貫校・
義務教育学校の設置

発表事項 4

ハラスメントのない職場づくりを進めます

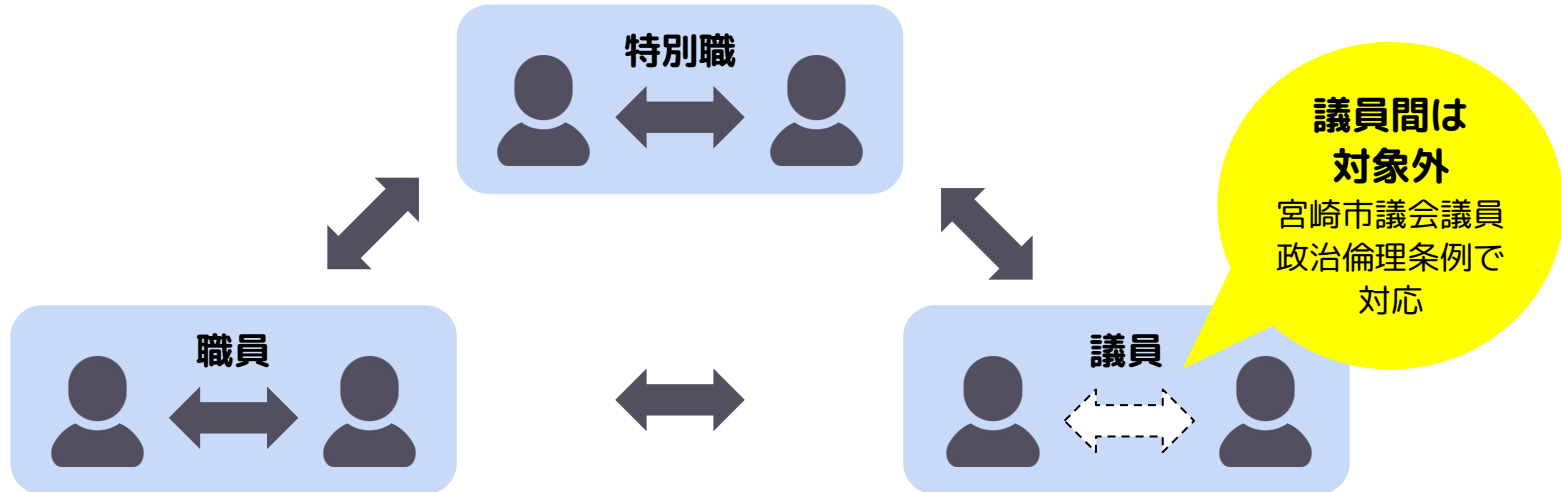




「宮崎市ハラスメントの防止等に関する条例」を4月から施行

- **職員、市長等の特別職、議員全ての当事者が対象** **(全て対象は県内初)**

これまでの内部規定（要綱）は、特別職、議員を含まないため、市議会の協力を得て条例化
それぞれが能力を発揮することができる良好な勤務環境の確立を目指す





具体的取組み

条例に規定は県内初！

● 弁護士と心理カウンセラー等による外部相談窓口を設置（業務委託）

勤務時間外（夜間）や土日も受付け、相談しやすい体制を確保
外部窓口は、相談者の希望に応じて調査・解決の措置を担当課長へ要請

● ハラスメント調査審議会を設置

外部有識者のみは県内初！

審議会は、市から諮問を受けた問題について公平に話し合い、答申する
外部有識者3名で組織し、原因究明及び再発防止の措置について意見を述べる



● カスタマーハラスメントに関する措置について規定

職員を対象とした
カスハラ措置の規定は**全国初!**

市長に対し、職員を守るためのカスハラ対策（相談体制や抑止策）を講じる義務を規定
職員のカスハラ理解と、取引先等への適切な言動を義務付け